

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公開番号】特開 2001-117049 (P2001-117049A)

【公開日】平成 13 年 4 月 27 日 (2001.4.27)

【出願番号】特願 平 11-293675

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/22 (2006.01)

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

G 0 2 B 21/22 (2006.01)

G 0 3 B 35/16 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/22

A 6 1 B 19/00 5 0 7

G 0 2 B 21/22

G 0 3 B 35/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 11 日 (2006.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】物体像を撮像し、複数の電子画像表示装置で観察する立体観察装置において

、観察光軸上に光路分割手段を有し、前記光路分割手段を介して分割した複数の光路上に撮像ユニットを有し、各前記撮像ユニットには左右開口を有していて、

少なくとも 1 つの前記撮像ユニットを観察光軸の周りを回動可能に構成したことを特徴とする立体観察装置。

【請求項 2】同一の表示面に、左右の画像を順次表示させる表示手段と、

表示面を介して観察者の左右の目に共役な位置に配置された左右の照明手段とを有し、前記表示手段により表示される左右の画像と同期して、照明手段の左右の照明を発光させることを特徴とする電子画像表示装置。

【請求項 3】前記表示パネルに、微小マイクロミラーアレー表示装置 (DMD) を用いたことを特徴とする請求項 2 に記載の電子画像表示装置。

【請求項 4】前記表示パネルに、反射型液晶表示装置を用いたことを特徴とする請求項 2 に記載の電子画像表示装置。

【請求項 5】前記表示パネルに、透過型液晶表示装置を用いたことを特徴とする請求項 2 に記載の電子画像表示装置。

【請求項 6】前記光路分割手段と前記撮像ユニットとが一体的に、前記観察光軸の周りに回動することを特徴とする請求項 1 に記載の立体観察装置。

【請求項 7】前記撮像ユニットが、前記光路分割手段の後の観察光軸の周りに回動することを特徴とする請求項 1 に記載の立体観察装置。

【請求項 8】前記光路分割手段と前記電子画像表示装置とが一体的に、前記観察光軸の周りに回動することを特徴とする請求項 1 に記載の立体観察装置。

【請求項 9】前記光路分割手段と前記撮像ユニットと前記電子画像表示装置とが一体的に、前記観察光軸の周りに回動することを特徴とする請求項 1 に記載の立体観察装置。

【請求項 10】前記光路分割手段を透過した光路上に、前記物体像をモニター表示するための撮像素子を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の立体観察装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、本発明による電子画像表示装置は、同一の表示面に、左右の画像を順次表示させる表示手段と、表示面を介して観察者の左右の目に共役な位置に配置された左右の照明手段とを有し、前記表示手段により表示される左右の画像と同期して、照明手段の左右の照明を発光させることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、本発明による電子画像表示装置は、前記表示パネルに、微小マイクロミラーアレイ表示装置(DMD)を用いたことを特徴とする。

また、本発明による電子画像表示装置は、前記表示パネルに、反射型液晶表示装置を用いたことを特徴とする。

また、本発明による電子画像表示装置は、前記表示パネルに、透過型液晶表示装置を用いたことを特徴とする。

また、本発明による立体観察装置は、前記光路分割手段と前記撮像ユニットとが一体的に、前記観察光軸の周りに回転することを特徴とする。

また、本発明による立体観察装置は、前記撮像ユニットが、前記光路分割手段の後の観察光軸の周りに回転することを特徴とする。

また、本発明による立体観察装置は、前記光路分割手段と前記電子画像表示装置とが一体的に、前記観察光軸の周りに回転することを特徴とする。

また、本発明による立体観察装置は、前記光路分割手段と前記撮像ユニットと前記電子画像表示装置とが一体的に、前記観察光軸の周りに回転することを特徴とする。

更に、本発明による立体観察装置は、前記光路分割手段を透過した光路上に、前記物体像をモニター表示するための撮像素子を設けたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0093】

(8) 前記光路分割手段と前記撮像ユニットとが一体的に、前記観察光軸の周りに回転することを特徴とする請求項 1 に記載の立体観察装置。